

## 「新名神・東環開通効果検討会議」設立趣意書

北勢地域においては、新名神高速道路が平成30年度に予定される新四日市JCT～亀山西JCT間の開通により、三重県区間が全線開通する。東海環状自動車道西回り区間においても、平成30年度に大安IC～東員IC間の開通が予定されており、1日も早い全線開通に向け事業が進められているところである。

平成17年に開通した東海環状自動車道東回り区間では、沿線地域への企業進出が促進され約3万人の雇用が創出される等、様々なストック効果を発揮しており、北勢地域においては、新名神高速道路、東海環状自動車道の開通による高規格道路ネットワークが形成・拡充された際には、多岐にわたる開通効果を発揮すると期待される。

これらの効果を最大化するためには、関係する機関が連携して開通による効果を的確に把握し、広く一般に広報を行うことが必要である。

本会は、新名神高速道路(新四日市JCT～亀山西JCT)・東海環状自動車道(大安IC～東員IC)の開通による影響把握にあたり、関係機関が密接に連携し、開通効果検討および対外的な広報を行うことを目的として設置するものである。